

令和 5 年度事業報告について (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

1. イベント交流活動事業

(1) 「2023 北海道スカイスポーツフェア in 余市」の開催

- ・テーマ 「集まれ 海と空の交わる地 よいち」
- ・日時 令和 5 年 9 月 10 日 (日) 7:00～14:30
- ・場所 余市農道離着陸場「アップルポート余市」
- ・主催 (公社) 北海道スカイスポーツ協会
- ・共催 余市町
- ・後援 国土交通省北海道開発局、北海道、一般財団法人日本航空協会、
一般財団法人北海道開発協会、一般財団法人北海道河川財団、
一般財団法人石狩川振興財団、公益社団法人北海道観光振興機構
- ・協賛 余市町農業協同組合、(株)ドーコン、(株)北海道銀行、一般社団法人余市観光協会
- ・来場者数 2,500 人

・概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延から中止していた余市町でのフェアは 4 年ぶりの開催となりました。

当日は朝から好天に恵まれ、会場となったアップルポート余市には周辺の市町村や小樽、札幌方面からも多数の来場者を迎えて開催することができました。

毎回大好評の熱気球とヘリコプターの体験搭乗には、早朝にもかかわらず定員を超える参加者が並び、プログラムの進行にも影響が出るほどになりました。

また、子供たちが参加できるスカイスポーツ教室にも大勢の参加があり、自分で作った作品での模擬競技会でも、より高く、より遠くへと家族ぐるみでにぎわう姿が見られました。

デモフライトでは、二人のスカイダイバーが余市町旗と大会旗をなびかせながら降下して会場の目標地点に無事着地し、副町長と大会長にそれぞれの旗を返還した後、大会長から来場者に対して歓迎の挨拶がありました。

そのほか、グライダーやマイクロライトプレーンでの飛行や、曲に合わせて踊るように 3 人で揚げるスポーツカイトや 100 連凧、ジェットエンジン搭載の巨大なラジコンヘリコプターや高速でも 2 人で息の合ったヘリコプターの演技飛行など、子供たちはもちろん大人でも興味がわく演技が続きました。

アトラクションでは、地元で活躍している「余市パイピングソサイエティ」のバグパイプ演奏で心に染み入る演奏を聴くこともできました。

以上のとおり順調に進んでいたフェアでしたが、午後最初のモーターパラグライダー飛行演技で離陸時の負傷事故が発生したため、以降のプログラムを中止しました。

ご後援、ご協賛いただいた関係機関、団体、企業等の皆様、また、大会準備、大会運営にご支援いただいた余市町、本部役員、各スカイスポーツ団体の皆様には厚くお礼を申し上げますとともに、事故の発生によりフェアを中止したことにつきましては深くお詫び申し上げます。

・プログラム実施内容

○飛行展示（デモフライト）

モーターグライダー、マイクロライトプレーン、モーターパラグライダー、スカイダイビング、
模型飛行機（ラジコン）、スポーツカイト

○地上展示

モーターグライダー、マイクロライトプレーン、モーターパラグライダー、模型飛行機（ラジコン）、
スポーツカイト、熱気球（バスケット）

○スカイスポーツ教室、模擬競技会

紙飛行機、竹とんぼ、凧作り

○体験会

パラグライダーふわり体験、模型飛行機（ラジコン）操縦、スポーツカイト操作、熱気球搭乗（係留）、
ヘリコプター体験搭乗（有料）

○アトラクション

郷土芸能（バッグパイプ）、お楽しみ抽選会、模擬競技会、凧揚げ大会（大凧 連凧）

○グルメ、物販コーナー

（２）スカイスポーツ競技会への支援

①「第 21 回 HOSPA 杯争奪スケールアクロ競技会」北海道 RC 模型航空連盟

・7月30日（日）札幌市で開催予定のところ、参加者少数につき実施しなかった。

②「第 18 回 HOSPA CAP in 島牧」北海道ハグ・パラグライディング連盟

・9月30日（土）～10月1日（日）島牧村で開催予定のところ、天候不良により中止した。

（３）スカイスポーツ関係者交流会の開催

・開催日 12月8日（金）

・場 所 札幌市 参加者 6団体 9名

フェア開催時に集合する以外では、年に1度のこの交流会はSS団体が一堂に会する唯一の機会
で、各スカイスポーツ団体の活動状況やスカイスポーツフェアに関する意見交換などを行った。

2. 啓発普及活動事業

（１）広報誌等の発行による啓発普及

① 広報誌「あえる」第 65 号発行 1月15日付（2,000部）

会員、スカイスポーツ団体、関係法人等幅広く配布。ホームページにも掲載し、今後開催予定の
各種講習会・体験会・SS教室や北海道スカイスポーツフェア来場者にも配布する。

② スカイスポーツイベントカレンダーの発行

道内各団体の主要イベントを収集し4月に発行。関係者他一般に配布、ホームページにも掲載す
る。

(2) 情報収集提供

① ホームページの活用

- ・当協会案内の更新（事業計画・決算情報等の開示）
 - ・広報誌「あえる」・北海道内におけるイベント情報・スカイスポーツガイドブックの掲載
 - ・主催・共催事業・トピックスのお知らせ、フェア DVD 動画の掲載
- ここ数年当協会ホームページのアクセス件数は順調に増え、月平均 2000 件を超えている。

② 後援共催等イベント支援事業

- ・「第 49 回北海道バルーンフェスティバル」 上士幌町 8 月 12 日（金）～14 日（日）

(3) 体験会の開催

① パラグライダー無料体験講習会

開催日 10 月 1 日（日）
場 所 ぴっぷスキー場
参加人員 31 名

② みんなのスカイスポーツ教室

6 月 18 日（日） 札幌市

- ・「熱気球」体験搭乗会 前田森林公園 ～ 参加予定者 107 名・・強風により中止
- ・「スポーツカイト」演技 //
- ・「紙飛行機」演技 //

7 月 9 日（日） 幕別町

- ・バルーン体験搭乗会 明野ヶ丘スキー場 ～ 参加者 104 名
- ・「スポーツカイト」演技 //
- ・「紙飛行機」演技 //

開催した 2 か所とも予定を超える多数の申し込みがあり、抽選で参加者を決定した。

(4) 安全講習会等の開催・支援

① 安全講習会の開催・支援

○マイクロライトプレーン

開催日 令和 5 年 4 月 2 日（日） 9 : 30～12 : 00
場 所 札幌市 かでる 27
主 催 北海道ウルトラライト航空連盟
共 催 (公社) 北海道スカイスポーツ協会
テ ー マ 超軽量動力機等の安全な飛行 ～空を安全に楽しむために～
講師 国土交通省運輸安全委員会事務局
総務課事故防止分析室 事故防止調査官 築山岳史
参加人員 31 名

○ハング・パラグライダー

開催日 令和5年6月10日(土)
場所 留寿都村 ルスツフライトエリア
主催 北海道ハング・パラグライディング連盟
共催 (公社)北海道スカイスports協会
内容 ① ヒアリング ② 装備、技術確認 ③ メニュー作成
④ グランドハンドリング実施 (所要時間約2時間30分)
講師: 田代茂樹、西泉隆広、佐々木泰文 (JHFパラグライダー教員)
参加人員 5名

② 指導者研修会の支援

○グライダー (北海道滑空協会主催)

開催日 10月21日(土)、10月22日(日)
場所 たきかわスカイパーク
講師 櫻井玲子 (日本グライダークラブ フライトインストラクター)
内容 失速領域での挙動の確認及び状況判断など
参加人員 5団体10名

○ハング・パラグライダー

開催日 6月10日(土)
場所 留寿都村 ルスツフライトエリア
講師 田代茂樹 (北海道連盟)
内容 (座学)JHFパラグライダー教本
(実技)フライト実技及びリパック認定講習
参加人員 2団体5名

③ 安全対策検討会

開催日 12月8日(金)
参加者 7団体9名
内容 9月10日開催の余市フェアにおいて負傷事故が発生したことにより、フェアにおける事故の再発防止対策を重点議題として検討した。
なお、この検討結果を受けて1月23日、「スカイスportsフェアにおける安全対策について」を決定し、フェア関係者に通知した。

3.その他の主な活動

開催会議

令和5年4月18日(火) 令和5年度第1回理事会
令和5年5月23日(火) 令和5年度定時総会
令和6年3月28日(木) 令和5年度第2回理事会